

名東区が誇りたい  
特産物や文化、技術 産業を  
ご紹介します。

### 名東区ブランド ③〇

ふるさとの魅力を発信

名古屋発！日本最大級の読書会コミュニティ

# 猫町倶楽部

総勢7千人を超えるメンバーが集う「猫町倶楽部」。  
7年前、ここ名古屋名東区で誕生しました。  
読書だけでなく、映画や音楽など他ジャンルをも巻き込んだ、新たな読書会の姿を築き上げています。



猫町倶楽部誕生の地、名東区の「JAZZ茶房 青猫」にて。読書会は、初心者、ベテラン、男女比、年齢層などのバランスを考慮した上で、5~7人のグループとなり、ひとつのテーブルを囲みながら語り合う。読書好きはもちろん、「読書する習慣をつけたくて参加した」というメンバーもいるとのこと。

## いざ、仲間とともに めぐるめく本の旅へ。

「本を読むとは、冒険である。」それは、ある先人の言葉。活字を夢中で目で追えば、未知なる世界へと誘われることでしょう。読書は一人でするもの——ですが二人で冒険を完結するのは味気ない。本を読み、誰かと語り合うことで、また新たな境地を切り開く。猫町倶楽部は、そんな読書好き7千人以上のメンバーが集う、日本最大級の読書会コミュニティです。

誕生地である名古屋はもちろん、現在では東京、京都と他地域にも拠点を置く同倶楽部。「けど、当初はたったの2人で、ここ名東区内で始めた読書会だったんですよ」と微笑むのは、代表の山本多津也さん。「その2人のメンバーというものが、現在東京で副代表を務めている相方でした。根拠からの読書家の私に、「本をどのように読み続けければ良いのか」と、彼が訪ねたことが始まりで、それが、約7年前の出来事です。

「そんなふとしたやりとりをきっかけに、現在の同倶楽部の母体は完成しました。」

その後、二人の知人・友人を中心に、メンバー数はゆつくりと増加。「人それぞれに個性があるように、同じ本でも、読み手の数だけ解釈は違います。ならばもっと多くの人々に参加してもらい、色々な意見を発見できないかと考えました。」その想いを実現させたのが、当時、人々の新たな出会いのかたちを構築しつつあったSNS。「読書会してみませんか？」という気軽なスタンスで、新たなメンバーを募ってみたいんです。すると、想像以上に多くの人々が関心を持ち、実際に足を運んでくれて。嬉しい反面、とてもびっくりしました。なぜって、「読書会」という言葉の知名度は、現在よりも断然低かったため。「そうして2年が経とうとした頃、同倶楽部は地元の新開取材を受けることに。これがきっかけとなり、メンバーの数は軽く千人を超えることとなったのです。」



1)「一人ではちょっと手が伸びない、けど読んでおきたい」課題本が選定される、ビジネス・人文系読書会「アウトプット勉強会」の様子。経営者やサラリーマンに人気。2)課題本やシチュエーションによってドレスコードを採用するのも猫町倶楽部の特徴(写真時は浴衣を着用)。そんなちょっとした遊び心も魅力。3)「読書会旅行」での記念写真。過去には読書会での出会いをきっかけに交流を深め、めでたくゴールインしたメンバーも!



4)他カルチャーを大いに巻き込むイベント、「猫町UG(アンダーグラウンド)」にて。マルキド・サドの「悪徳の栄え」がテーマということで、ドレスコードは「仮面」。ゲストには宗教人類学者の植島啓司氏、ロープアーティストの鬼のこ氏が登場。5)ある日の読書会後に開催された「猫町ナイト」。山本さんが自らDJとなり、参加したメンバーも大盛り上がり。

## メンバー全員、対等に 自由に語り合える場所。

読書会は、各地域で月に4回ほど開催。メンバーは皆、当日の課題本を読んだ上で参加します。「文学はもちろん、芸術、精神、ビジネス関連など、本のジャンルは多岐に渡ります。けれど、小難しい文学論争や日本の経済状況を真面目に語るといった堅苦しさは求めていません。この登場人物が共感するとか、この台詞の真意が分からないとか、皆が気軽に発言できるような読書会であること意識しています。というのも、私達は「本」という共通点を通して知り合う仲間ですから、社会的権力的なフォーマットに集約されない、フラットな関係性が成り立つんです。例えば会社だったら、上司を立てたり、後輩の手前良い恰好をしたり、そんな暗黙のルールがあるじゃないですか。けど猫町倶楽部には、ヒエラルキーが一切ない。マナーを守りながら、自分の意見や疑問をどんどん口にしてもらえればいいんです。そういう場所って、ありそうでなかなかないですよ。」

## 映画、音楽、学問を。 他ジャンルとの邂逅で 本の世界は、もっと広がる。

本の魅力を、映画や音楽、美術など、その他諸々の分野にも見つけ、その取り組むのも同倶楽部の特徴。「時には、有名な映画監督やミュージシャン、女優や学者を招来して、その本について話してもらう。その際は、それぞれの分

毎週1割以上が「初参加」！  
気軽に参加してみませんか？

申込み方法/SNS[mixi]の猫町倶楽部読書会のコミュニティに参加、もしくはHP(<http://www.nekomachi-club.com>)もしくは「猫町倶楽部」と検索からの参加受付フォームより受付中!

今後の名古屋会場の予定

★「猫町」読書会&クリスマスパーティー

12/14(土) 15:00 受付開始  
15:30~17:30 読書会 18:30~パーティー

課題本/荻原朔太郎「猫町 他十七篇」  
定員/120名  
会場/yebis-gogo-cafeチハヤバンケット  
(中区新栄1-47-12 郷原ビル1F)

参加費/読書会のみ1,500円(1ドリンク&スイーツ付)  
パーティーのみ5,000円  
セット参加6,000円

※パーティー参加者はプレゼントもお忘れなく!  
※キャンセル規定あり  
※その他詳細HP(<http://www.nekomachi-club.com>)もしくは「猫町倶楽部」と検索へ!

### 猫町倶楽部Q&A

Q.読書会には誰でも参加できるの?  
A.誰でもOK!ただし、開催日までに「課題本」を読むことが必須となります。

Q.実際、どんな読書会があるの?  
A.大きく2つの会を設けています。  
①文学サロン/月曜会...古今東西の文学作品を課題本とした読書会。クラシックでスタンダードな作品から、新鋭作家による話題作品まで網羅します。(過去に夏目漱石「こころ」、太宰治「人間失格」、中村うさぎ「私という病」など)②アウトプット勉強会...ビジネスの場で活かされる知識の習得や自己啓発を目的とした読書会。(過去にカーネギー「人を動かす」、福沢諭吉「学問のすゝめ」、梅田望夫「ウェブ進化論」など)その他、映画を語る「シネマテーブル水曜会」なども開催しています。

Q.場所はどこでやるの?  
A.名古屋市内の場合は、名駅近くのビルの一室や、その他各地のカフェを利用します。

Q.人前で話すのが苦手です。大丈夫?  
A.もちろん大丈夫!相手の意見を跳ね返したり、否定するメンバーはいませんよ。また、読書会には運営サポートがいるので安心です。

Q.一人でも参加しても良いの?  
A.大歓迎です。実際、メンバーの大半が最初は一人で参加しています。まずは気軽に参加して下さい!